

令和4（2022）年1月27日

関西大学
八幡市
独立行政法人都市再生機構 西日本支社

関大生によるUR都市機構男山団地リノベーション

～「住みたい、住みつづけたい、男山」を目指した‘地域活性化’プロジェクト～

関西大学・八幡市及び独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）の三者は、京都府知事立会いのもと「住みたい、住みつづけたい、男山」を目指して、平成25年10月に「男山地域まちづくり連携協定」を締結し、京都府八幡市男山地域の再生に取り組んでおります。

この取組みの一環として、関西大学の学生が、団地にお住まいの方から集めたニーズをUR賃貸住宅に反映させたことで生まれたリノベーション住宅を、令和4年2月から一般公開し、入居者の募集を行います。

なお、現地での住宅内覧の他、バーチャルモデルルーム（スマホでお部屋がご確認いただけます。）からも住宅内覧できますので、ぜひご覧ください。



リノベーション住戸と設計者の学生たち

（左：「切り抜く住まい」中央上、右「暮らしの中で働く住まい」中央下：設計を行った関西大学の学生達

お問い合わせは下記へお願いします。

独立行政法人都市再生機構 西日本支社

京奈エリア経営部（団地マネージャー班）（電話）075-253-6105

総務部 総務課（広報担当）（電話）06-6969-9008

本件は、近畿建設記者クラブ、森ノ宮記者クラブ、京都府政記者室、八幡市政記者会、大阪科学・大学記者クラブ等への同時配信にてご案内しております。

1 プロジェクト概要

関西大学団地再編プロジェクト（研究代表者：江川直樹教授）、八幡市、京都府及びUR都市機構は、平成25年10月25日の「男山地域まちづくり連携協定」の締結以降、地域の再生に協働して取り組んできました。そして地域コミュニティ活性化やセルフリノベーション特区（自分好みの住宅に自ら改修できる住宅を集めたエリア）の供給などの先導的な活動が平成28年都市住宅学会業績賞を受賞するなど、社会的にも非常に高い評価を受けております。

関西大学の学生たちは、UR都市機構男山団地内に開設しているコミュニティ活動拠点、「だんだんテラス」において、団地にお住まいの方とのコミュニケーションを図りながら、住まいのニーズを集め、新しい団地の暮らし方を提案する住戸設計に取り組んできました。平成26年度から23タイプ41戸の住宅を供給し、今回新たに2タイプの住戸が完成しました。

完成した住戸については、令和4年2月5日（土）から2月12日（土）まで一般公開を行い、2月13日（日）に申込受付を行います。

これからも「住みたい、住みつづけたい、男山」を目指して地域再生のための取り組みを四者で連携し、進めてまいります。

2 UR都市機構男山団地の概要

交通	京阪本線「樟葉」駅から京阪バス7～11分または「石清水八幡宮」駅から京阪バス10～19分、下車徒歩1～7分	所在地	京都府八幡市男山竹園 他
構造	鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造 5・8・10・11・14階建(147棟)	管理戸数	4,589戸
完成年月	昭和47(1972)年3月～ 昭和51(1976)年7月	住戸型式	1R～3DK

3 募集概要について

令和3年度の募集概要については以下の通りです。

- (1) 内覧期間 : 令和4年2月5日(土)～2月12日(土) 午前10時～午後4時
内覧受付は男山現地案内所(男山団地B48号棟2階)
(2月9日(水)は休業)
- (2) 申込受付 : 令和4年2月13日(日) 午前10時～午前10時30分
申込受付は男山団地中央集会所
(男山団地B48号棟2階北側 管理サービス事務所・集会所)
- (3) 募集住戸 : 2戸
- (4) 入居可能日 : 3月上旬(予定)

※1 お申込みが複数あった場合は抽選により当選者を決定いたします。

※2 コロナ禍の対応で内覧・申込受付の変更等のお知らせにつきましては、UR都市機構のホームページ、男山現地案内所(Tel.075-982-8095)でご案内いたします。

※https://www.ur-net.go.jp/west/case/otokoyama_danchi/index.html

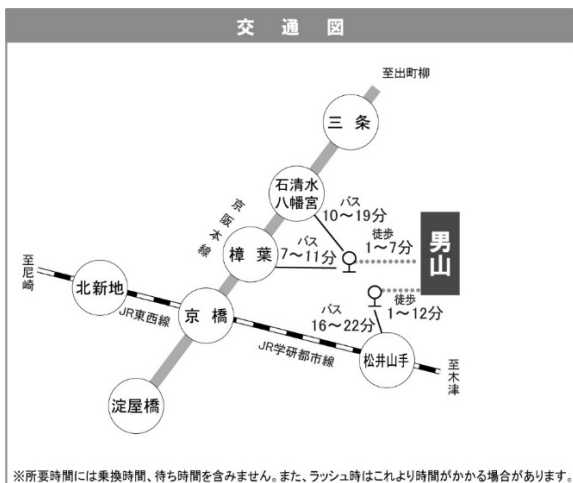
4 リノベーション住戸について

募集住戸は、以下の通りです。

部屋番号 (型式)	名称及び概要	写真 (月額募集家賃・月額共益費・専有面積)
B29号棟 504号室 (1R) 	<p style="text-align: center;">「暮らしの中で働く住まい」</p> <p>在宅ワークや趣味の場、また、おもてなしの場としても利用できる土間空間を設けました。</p> <p>南北の居室を隔てていた北側の押し入れを撤去し、ワンルームとすることで南北に広がり生まれ、風通しの良い明るい居住空間となりました。加えて、洗面化粧台や浴室等も、明るくゆとりある空間に改善しました。</p> <p>北側の公園など環境に恵まれた立地を生かすため、土間と居室との間に室内窓を設け、土間と居室のつながりを作り、外の緑あふれる景色へ視線が抜けていきます。</p>	 <p style="text-align: center;">(47,600円 ・2,300円・44.02㎡)</p>
D6号棟 504号室 (1LDK) 	<p style="text-align: center;">「切り抜く住まい」</p> <p>壁の一部を切り抜き開口にすることで、明るく開放的な空間にしつつもプライベート空間を確保できる住戸です。</p> <p>北側居室の押し入れは収納を兼ねたデスクにコンバージョンし、逆L字型に切り抜かれた壁によって家族の存在を感じつつも視線を気にすることなく作業できます。</p> <p>気候の良い時期には気持ちの良い風が住戸を通り抜け、アクセントとなる赤い柱や、壁の色の塗り分けによって空間の立体感や奥行きをより際立たせるようにデザインし、快適な空間を目指しました。</p>	 <p style="text-align: center;">(48,700円 ・2,300円・43.37㎡)</p>

バーチャルモデルルームによりスマートフォン等で各お部屋をご覧いただけます。(上記QRコードをご利用ください。なお、①令和4年3月1日以降はご覧いただけません。②申込時は実際の住戸をご確認いただくようお願いいたします。③住戸内の家具などは展示品のため、ご契約時には撤去した状態での引き渡しとなります。)

5 所在地 八幡市男山竹園3番地 他



京阪本線「樟葉」駅からバス7～11分 または「石清水八幡宮」駅からバス10～19分、下車徒歩1～7分
 またはJR線学研都市線「松井山手」駅からバス16～22分下車徒歩1～12分

6 参考情報

■ UR都市機構 男山団地特設ページ

https://www.ur-net.go.jp/west/case/otokoyama_danchi/index.html

男山団地の情報を日々更新しております。

■ だんだんテラスFacebookページ

<https://ja-jp.facebook.com/dandanterrace>



男山団地（C・D地区）



だんだんテラスと子どもたち



だんだんテラス



だんだんラボ（DIYサポート）



毎朝のラジオ体操



だんだん朝市